

令和2年度 第2回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：令和2年12月22日（火）～12月28日（月）

○場 所：（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議にて開催）

○書面での回答者：委員及びオブザーバーの計18人

○書面での主な意見等

「第2期幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」の内容について、委員から以下のようなご意見をいただきました。

●「第2期幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」について

□総合戦略全体について

- ・幸田町の成長エンジンである町税を長期安定化させるには何が必要かと考えることが必要。
- ・自動車産業への依存度が高いが、将来、炭鉱の町のようにならないようにするための戦略が必要である。
- ・総合戦略でやろうとしていることと現状分析とのつながりが弱く、「①現状分析→②課題抽出→③施策検討→④戦略への反映」の流れが分かるようにした方がよい。
- ・「現在の幸田町の地域課題」と「将来に向けた課題」を2階建てで考え、それらを解決するために必要なリソースをどのようにして確保するかを考えることが戦略である。

□第3章（総合戦略について）

- ・坂崎と幸田の児童館は、本当に整備されるものなのか。
- ・「第3子を産みたいが、仕事が決まらなると保育園に子どもを預けられない」という状況は、第1期総合戦略の時から変わっていないように思う。
- ・第3章の施策「スーパーシティ構想の推進」は、内閣府の「スーパーシティ構想」との整合性が不明である。
- ・いずれの目標も素晴らしく、問題はどのように目標を達成するかであり、目標の1つには具体的な達成計画をテストケースとして例示してもよいのではないか。
- ・第3章P3-11の「事業展開」に挙げられた6つの取組は、第2期総合戦略の目玉事業であり、これらが「横断的事业」として町全体の横串プロジェクトとなること分かるような示し方をするとよい。

□その他（アンケート調査について）

- ・アンケートなど、子育て世代の意見を吸い上げる機会があったらよい。

以 上